

市議会だより

No.233

令和6年5月10日発行

編集/発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506

FAX.0776-20-5744



ふくい桜マラソン 2024



JR西日本提供



ハピラインふくい開業記念出発式

1月
臨時会
(1月19日)

市長提出の議案1件、報告1件を
審議しました

主な議案は2ページ
審議結果は10ページ

3月
定例会
(2月16日～3月19日)

市長提出の議案57件、報告3件を
審議しました

主な議案は2ページ
審議結果は10～11ページ

議員提出議案3件を審議しました

主な議案は2ページ
審議結果は11ページ

陳情1件を審議しました

審議結果は11ページ

委員会審査

詳細は3ページ

議員23人が一般質問を行いました

詳細は4～9ページ

予算特別委員会審査

詳細は9～10ページ

予算特別委員会の委員を選任しました

委 員 名				◎委員長	○副委員長
◎今村 辰和	○村田 耕一	堀川 秀樹	鈴木 正樹		
下畑 健二	堀江 廣海	伊藤 洋一	藤田 諭		
田中 義乃	池上 優徳	酒井 良樹	葛野 早智代		
浦上 逸人	漆崎 與	佐野 弘			

〈調査項目〉各会計当初予算、補正予算の審査及び市政上の重要案件

令和6年度 会計別予算総括表

(単位:千円)

会計区分	予算額
一般会計	129,305,000
国民健康保険	20,838,000
後期高齢者医療	4,779,000
介護保険	27,293,000
母子父子寡婦福祉資金貸付	27,000
特別会計	21,422,000
競輪	21,422,000
産業団地整備	33,000
宅地造成	246,000
中央卸売市場	872,000
駐車場	105,000
地域生活排水	0
企業会計	7,800,000
水道事業	7,800,000
簡易水道事業	685,000
下水道事業	20,640,000
集落排水事業	1,424,000
合計	235,469,000

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10ページ、11ページに掲載しています。

1月臨時会

○副市長

副市長の欠員を補充するため、小寺正樹氏を選任することに同意しました。

3月定例会

令和6年度当初予算

令和6年度当初予算は、令和6年3月の北陸新幹線福井開業、さらには令和8年春に予定されている中部縦貫自動車道の県内全線開通を見据え、人や物の流れが劇的に増大する「大交流時代」を拓くための重要な予算です。

- ・福井市農業モデルエリア整備事業
- ・産業団地整備事業
- ・観光誘客事業

④学び成長するまち

- ・九頭竜中学校等整備事業
- ・地域スポーツクラブ・文化クラブ活動推進事業
- ・福井市学校給食センター管理運営事業

令和5年度補正予算

3月補正予算は、原油価格・物価高騰への対応をはじめ、国・県の補助金等を活用して行う事業のほか、令和6年能登半島地震により被害が発生した白方町の農地や農業施設等への復旧支援など、予算措置が必要となった事業について計上するものです。

今回の補正予算の規模は、一般会計で47億1,684万3千円、特別会計で3億4,011万2千円、企業会計で7億3,974万9千円を追加するもので、補正後の予算総額は、一般会計で1,426億6,528万8千円、特別会計で780億1,117万円、企業会計で325億6,565万1千円、全会計では2,532億4,210万9千円となります。

「予算のポイントとなる事業」

①快適に暮らすまち

- ・市街地再開発事業等支援事業
- ・県都にぎわい創生推進事業
- ・中心市街地賑わいづくり事業

②住みよいまち

- ・子ども医療費助成制度完全無償化事業
- ・ごみ処理施設整備事業

- ・南消防署建設事業
- ・活き活きと働くまち

- ・ブランド化による持続可能な

条例

○福井市介護保険条例の一部改正について

福井市地域包括ケア推進協会の委員の数を変更するとともに、令和6年度から令和8年度までの第1号被保険者に係る介護保険料を改定するものです。

○福井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

放課後児童支援員の安定的な確保を図るため、資格要件を緩和するものです。

人事案件

○固定資産評価審査委員会委員

令和6年3月31日をもって任期満了となる委員の後任として、宮田貴代美氏を選任することに同意しました。

市会案(議員提出議案)

○福井市議会の個人情報情報の保護に関する条例の一部改正について

企業管理者の名称変更に伴い、所要の規定の整理を行うものです。



※予算の概要については、市財政課のホームページをご覧ください。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。
(委員会終了順に掲載)

北陸新幹線開業効果最大化 対策特別委員会



《北陸新幹線福井延伸に合わせ
て開業する物産販売
拠点について》

問 福井駅構内の商業施設「くるふ福井駅」及びA街区市街地再開発ビルのフードホール「MINEE」が福井駅前商店街や西武福井店など駅周辺の商業施設としっかり連携が取れるよう、何か方策を考えているのか。

答 ハピテラスで実施するイベントが盛り上がることで、入居テナントの方も時間を延長して営業する、営業時間を延長すればイベントも盛り上がるといった、互いに相乗効果が期待できるような取組を今後も続けていきたいと考えている。また、まちづくり福井は、屋内広場「ULO（ウロ）」やA街区とB街区の間に整備される芝生広場などで様々なイベントの実施を検討していることから、これらのイベントを介して商店街とも連携し、まちなかの回遊性を高めていきたい。

建設委員会



《バス交通維持・活性化支援事業について》

問 バスの運転手の成り手が少ないという切実な声を聞くと、市内の路線バスの現状について、本市としてどの程度把握しているのか。

答 路線バスについては、京福バス、福鉄バスともに運転手が1割程度不足している状況である。このため、本市は路線バスの維持に向け、バス会社とともに運行ダイヤの調整などを進めているところである。また、これまで市が路線バス会社に委託していた事業の一部について、その委託先を令和6年度から別の会社に変更することで、路線バス会社の負担を軽減し、バスの運行に注力できるように対応する予定である。

問 バス運転手を育成するための支援メニューは今のところ何もないのか。

答 県とともに新たな支援ができないかを模索しているところである。また、本市独自の

総務委員会



《企画費について》

問 令和5年度予算と比較すると約1億円の減額となっており、その主な要因は、ふくいプロモーション事業の減額にあるとのことだが、具体的にどのような経費を減額したのか。

答 令和5年度は北陸新幹線の福井開業年度であることから、プロモーション事業の予算額がかなり多くなっており、首都圏等に向けた情報発信のための経費に約8,800万円、3月16日及び17日開催の開業イベント経費に約2,400万円、歓迎装飾のための経費に約1,000万円を計上した。令和6年度予算には、これらの経費を減額または計上していないため、約1億円の減額となっている。

問 開業前のPRとしてのプロモーション事業が、開業することにより一段落するということなのだと思うが、開業効果を最大限発揮させるためには、予算をかけながらしっか

りとり取り組むべきである。開業後の状況を見ながら、さらに強化しなければならぬ部分を見極めつつ、しっかりと検証しながら取り組んでいきたいと考えているかがか。

答 これまで3月16日の開業に合わせて多くの予算を積み上げながら事業を実施してきたところであるが、今後も開業効果の最大化には引き続き取り組んでいかなければならないと考えている。今年の秋には、北陸デスティネーションキャンペーンも予定されていることから、総務部と観光部局がしっかりと連携しながら積極的に観光誘客プロモーションを行っていきたい。

経済企業委員会



《園芸・特産物振興対策事業について》

問 令和5年度の9月定例会の高温対策支援について、まずは担い手を対象にアンケート調査を行った上で支援内容を検討するとの答弁があったが、このことは事業内容に盛り込まれているのか。

答 昨年の10月に約300の経営体を対象にアンケート調査を行ったところ、約1

70件の回答があり、やはり一番の問題は高温により作物が育たないことであるとの結果が出た。このことから、ハウス内への直射日光を遮って作物の生育を促すことができるよう、本事業において、ハウス35棟分の遮光カーテンの設置に対する補助金として、約400万円を計上している。

教育民生委員会



《工事請負契約の締結について（新 福井市九頭竜中学校新築工事及び電気設備工事）》

問 近年の夏の猛暑対策として、将来的に体育館に空調設備を設置することは考えていないのか。

答 この学校は体育館を含め、高い設備を備えたZEB Readyを採用しており、他と比べ断熱性能が高い施設となっている。これに加え、体育館は4方向から空気を入れ替えることができる風通しのよい仕様となっている。しかしながら、昨今の暑さ対策は課題であると認識しており、空調設備に関しては今後、他自治体の状況等を含め研究していきたい。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を問うため、2月26日から28日までの3日間、23人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p>① 見谷 喜代三 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 市長の政治姿勢について 令和6年度当初予算案について こどもまんなか社会について 	<p>⑩ 寺島 恭也 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> アリーナ建設について 災害時の上下水道について 空き家対策について 	<p>⑰ 浦上 逸人 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 政策評価(部局マネジメント方針)について 「簡単・便利」な行政手続について 収入の確保について 県や近隣市町との連携について
<p>② 皆川 信正 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> アリーナ構想について 消防団について 自治会等地域活動運営について 	<p>⑪ 岩佐 武彦 (無所属)</p> <ol style="list-style-type: none"> 市長の思いと機構改革について 災害対策について アリーナの基本計画について 中学校の部活動について ワーケーション推進事業について 	<p>⑱ 奥島 光晴 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 子育て支援策における教育について 教育委員会の教育委員について 小学校(児童)中学校(生徒)の不登校について
<p>③ 田中 義乃 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 市長の政治姿勢について 福井市人材育成基本方針について 	<p>⑫ 宮岡 勝也 (無所属)</p> <ol style="list-style-type: none"> サブカルチャーの福井市への経済効果について 保健衛生部事業の予算について すまいるオアシスプラン2024(案)とフレイル予防について 風力発電設置に係る地域住民への周知について 	<p>⑲ 山田 文葉 (日本共産党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 地震等の災害時の対策について 介護保険について 学校給食費無償化について 自衛隊への個人情報提供について
<p>④ 酒井 良樹 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 情報発信について 組織体制の変更について 地域公共交通について 	<p>⑬ 今村 辰和 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 鳥獣害処理について 能登半島地震被災地への支援策について 美山地区の小学校の統合について 	<p>⑳ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 福井駅前南通り地区再開事業予定地の一時的整備について 民間による公道を使った災害義援や共同募金活動を行う際の道路占用料について 全天候型の表現が消えた中央公園屋根付き遊び場について 能登半島地震において浮き彫りとなった道路啓開計画とこれからの災害対策について
<p>⑤ 下畑 健二 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 福井市建築物耐震改修促進計画について アリーナ構想の基本計画(案)について 第3次「健康ふくふくプラン21」について 福井市地域コミュニティDX推進事業について 	<p>⑭ 津田 かおり (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 持続可能な自治会組織について こども未来部の新設について ネット・SNSから子どもを守る取組について 高齢者支援について 	<p>㉑ 佐野 弘 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> DX推進、働き方改革への取組について 災害時の避難所、防災ステーションについて 通学・通勤負担の軽減について 地域の魅力向上について 産業の成長と市の歳入増について
<p>⑥ 榊原 光賀 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 第八次福井市総合計画、福井市デジタル田園都市構想総合戦略について 	<p>⑮ 漆崎 與 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 福井市デジタル田園都市構想総合戦略について こどもまんなか社会の実現と少子化対策について 	<p>㉒ 葛野 早智代 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> こども食堂(みんなの食堂)について 障がい者の芸術活動について 学校給食について
<p>⑦ 野嶋 祐記 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> アリーナ構想について まちなかのにぎわい創出について 県営産業団地について 	<p>⑯ 近藤 實 (無所属)</p> <ol style="list-style-type: none"> 新年度の予算について こども未来部の新設と結婚についての教育 公文書開示 アリーナ整備・運営構想には大反対です! 	<p>㉓ 藤田 諭 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 防災対策について 中学生の部活動について
<p>⑧ 高田 稔浩 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 避難所を含めた市有施設等のバリアフリートイレについて 介護サポーターポイント制度について 令和7年度以降の福井市障害者活躍推進計画について 障がい者の日常生活用具給付事業について 	<p>⑰ 近藤 實 (無所属)</p> <ol style="list-style-type: none"> 新年度の予算について こども未来部の新設と結婚についての教育 公文書開示 アリーナ整備・運営構想には大反対です! 	
<p>⑨ 鈴木 正樹 (日本共産党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 市長選挙の結果と市長の政治姿勢について アリーナ建設への市の対応について 奨学金返済支援について 部活動の地域移行と教員の多忙化について 企業管理者の選挙違反の疑いへの対応について 		

「福井は安心」では、道路環境のレベルアップや災害に強い強靱なまちづくり、子ども子育て環境の充実などに取り組みたい。福井は元気では、新たな産業団地の整備等により企業誘致を促進するなど、産業施策を強力に推進していく。市民の皆様が幸福を実感できる「生まれ変わる福井」を築き上げていくため、私が先頭となり、全職員が一丸となって創意工夫を凝らし、持てる力の限りを尽くしていく。

「福井は楽しい」「福井は安心」「福井は元気」を施策推進のモットーとしていく。「福井は楽しい」では、新幹線開業後の人の流れを生かしながら年間を通じたイベントなどでにぎわいを創出するなど、福井ならではの楽しいまちづくりを進めていく。

回答

市長は、今後、福井市をどのように良くしていこうと考えているのか。市民の皆様に向けて、自身の言葉で分かりやすく示してほしい。

質問

市長の政治姿勢について



みたに きよぞう
見谷 喜代三 議員
一真会

一般質問要旨



みながわ のぶまさ

皆川 信正 議員

一真会

自治会長の負担軽減策について、市は何をどう対応してきたのか

質問

自治会長の方々からよく耳にするのは、時代に反して紙の配布物が多く、特に月2回の市政広報の配布は、募金の集金と同様に負担が重い。また、会員以外によるゴミステーションの利用でトラブルが生じているということである。これらに対して市の指導を求む。

回答

自治会長への配布物は必要性を精査し最小限の文書量となるよう努めているが、未だ自治会長の負担は大きいと捉えている。負担をより軽減するためには、電子回覧板やSNSを活用した役員間の連絡など、自治会のデジタル化を進めることが必要と考える。本市のゴミステーションは各自治会がルールを決めて維持管理を行っており、自治会ごとに事情が異なるため、市が統一の方針を示すことは難しい。市に相談があった際は市内の他自治会の事例等を紹介し、話し合いをお願いしている。



たなか よしのり

田中 義乃 議員

新政会

福井市の「四方よし」とは？

質問

近江商人の心得に「三方よし」がある。「売手よし」「買手よし」「世間よし」の考えである。最近「社員よし」を加えた「四方よし」を取り入れる会社が増えている。社員の満足がなければ「三方よし」はあり得ない。福井市としての「四方よし」は何か。

回答

本市にとつての「四方よし」とは、「職員よし」「市民よし」「まちよし」であると考えている。これは、職員の満足度が高まることで、市役所全体のサービス向上に繋がり、市民満足度が高まることで、持続可能な活力あるまちづくりに繋がっていくという捉え方である。「職員よし」に繋がる、働く職員の満足度は、働きやすい職場づくりはもちろん、職員一人ひとりが自らキャリア形成を主体的に考え、積極的に業務の遂行に取り組みことで醸成されると考えるため、今後も職員のキャリアに応じた職員研修をしっかりと実施していく。



さかい よしき

酒井 良樹 議員

市民クラブ

組織体制の変更について

質問

子どもに関する業務を一元的に集めた「子ども未来部」を設置し、子どもの居場所・遊び場・学習支援の場づくり等の施策推進のため、「子ども家庭センター」「女性支援室」が新設されるが、具体的な業務内容や目的は。

回答

こども家庭センターでは、妊産婦、子育て世帯、子どもに対する相談支援を一体的に行うほか、乳幼児健診、児童虐待対応などを行う。保健師や心理士など専門職が連携して対応し、妊娠から子育てまで気軽に相談できるワンストップ窓口とする。育児ストレス、ヤングケアラーなど、子どもに関する様々な問題の早期発見、対応につなげていく。また、女性支援室では、DVや離婚などに対する相談業務、養育費の確保のための支援、経済的に困難な女性の出産費用の支援などを行い、女性を取り巻く様々な課題の解決を図っていく。



しもばた けんじ

下畑 健二 議員

公明党

木造住宅無料耐震診断について

質問

福井市は、現行の耐震基準を満たさない古い木造住宅の耐震診断と補強プラン作成に係る個人負担を、令和6年度から無料とする。我が家の耐震が心配な方には是非とも活用して頂きたいが、どのように周知して取り組むのか。

回答

能登半島地震では、倒壊した建物の多くが古い木造住宅であったことから、改めて本市において木造住宅の耐震診断を早急に進め、耐震化を促進する必要があると判断した。また、地震の発生以降、市民から耐震に関する相談が急増し、住宅耐震化に対する関心の高まりを実感している。そこで、令和6年度から耐震診断にかかる申請者の自己負担を本市が負担し、無料化することとした。この事業の周知については、今後も引き続き、耐震補助パネル展の開催や、広報ふくいテレビ放送等を活用し、耐震化の必要性や拡充予定の補助制度の周知を図っていく。



さかきばら みつよし

神原 光賀 議員

一真会

福井市危機管理計画の見直しについて

質問

近年、頻発・激甚化している自然災害や、新型コロナウイルス感染症といった感染症への素早い対応が必要となっている。自然災害だけでなくあらゆる危機事象に対応するため、計画を見直したとのことだが、本計画の適用範囲はどうなっているのか。

回答

今年度の危機管理体制検討会議において、危機レベルの明確化や各部署の動きの可視化がさらに必要といった課題が挙げられたことから、その見直しも含め、本年2月に計画を改定した。本市を脅かす危機のうち、風水害や地震、原子力などの災害については福井市地域防災計画で、また、武力攻撃やテロについては福井市国民保護計画で対応している。加えて、新型コロナウイルス等の感染症については新型コロナウイルス感染症等対策行動計画に基づき対応している。これ以外の危機事象については本計画で対応していく。



まちなかの賑わいの創出
について

質問

クルフやミニ工など駅周辺で新たに開業する施設と既存の施設などが連携・協力する計画等はあるのか。また、行政の事業も含め、駅周辺の面的・総合的なマネジメントについてはどう考えているのか。

回答

新幹線開業に合わせ、駅周辺では新たなにぎわいの核となる施設が複数オープンする。これまでもハピリンや西武福井店、プリズム福井などが連携した取組を実施してきたところだが、今後は複数施設による横断的なイベントの開催など、より一層の連携を図る中で相乗効果を生み出していく取組が重要になる。さらに、施設間の連携に限らず、ほこみちやソライロテラスを含め、駅周辺における様々な取組を一体的に進めることで、より大きな効果が期待できると考えるため、今後もまちなかの総合的なエリアマネジメント機能を担うまちづくり福井を中心とした連携を強化しながら、各種事業を展開していく。



避難所を含めた市有施設の
バリアフリートイレ
について

質問

避難所に指定されている小・中学校の車いす使用者用トイレを含め、市有施設のバリアフリートイレに、立ち上がるのが困難な方が紙おむつの交換等に使用する成人・大人用ベッドの設置が必要と考えるが、市の所見を伺う。

回答

現在、ちもり体育館と清水健康管理センターの2施設に成人・大人用ベッド、いわゆる多目的シートを合わせて3台設置している。多目的シートの設置については、十分なスペースを確保する必要があるといった課題もあることから、まずは既存の多目的トイレにおいて、設置するためのスペースがあるかどうかの調査を実施する。その結果も踏まえ、福井市公共施設バリアフリー連絡調整会議を通して、施設の新築・改修の際の新設について協議を行っていく。



民設民営アリーナ計画の
半分は税金：許せぬ

質問

民設民営のはずのアリーナ建設の計画は、建設費105億円に対して最大50億円（47・6%）、運営費約6・9億円に対して2・9億円（42・3%）を税金で支援するという。建設費も毎年の運営費も半分ほどが税金頼り。こんな計画は見直し、税金支出は抑制すべきだ。

回答

民間施設に活用できる有利な補助制度として、デジタル田園都市国家構想交付金がある。経済界からは、こうした国の補助金を活用した支援の要望をいただいているが、本市としては今回示された基本計画（案）をしっかりと精査し、県とともに対応を検討していきたいと考えている。また、今後は事業費が上振れすることのないよう、経済界に対して、事業規模や整備内容、資金調達など様々な角度から精査を重ね、しっかりと取り組んでいただくよう求めていく。



災害時の上下水道について

質問

今回の能登半島地震において、長期断水や下水道管の破損が発生したと聞いている。本市の上下水道管及び老朽化した施設の耐震化率向上に向けた具体的な計画や施策はあるのか。

回答

水道管については、福井市水道事業ビジョン2020に基づき、基幹管路の耐震化を優先的に進めており、現在は災害時に配水池から災害拠点病院へ給水するための重要給水施設配水管の耐震化に取り組んでいる。なお、水道施設のうち市内全配水量の約7割を供給している九頭竜浄水場については、現在更新に向けた基本設計を実施しているところである。

また、下水道管については、今年度策定した福井市下水道管路施設地震対策基本計画に基づき取組を進めている。処理場やポンプ場等に直結し、災害時において復旧に時間を要する管径800ミリメートル以上の管路を優先し、耐震化を行っている。



中学校の部活動について

質問

本市中学校の休日部活動を令和7年度末で廃止するとの発表があったが、これまで休日を中心に行われてきた他校との練習試合は今後どのようになるのか。

また、休日に開催される地元の祭りなどに中学校のブラスパンド部に出演してもらっていたがどうなるのか。

回答

休日部活動の廃止後は、休日は学校では部活動を行わない方針であるため、学校側が対応することはない。休日に実施される練習試合は、それぞれの生徒が所属する地域クラブ活動間で行うこととなり、ブラスパンドの演奏等もそれぞれの団体で行うこととなる。一方で、平日の部活動は継続するため、従来からの大会等には学校部活動として参加することを想定している。なお、これらの大会等は休日に開催されるものも多く、休日に参加した場合は、平日の活動を休むなど、今後、地域クラブ活動推進協議会において対応方針を検討していく。



サブカルチャーの福井市への経済効果について

質問

アニメやライトノベルの経済効果は非常に高いと思っ
ている。本市はこれまで「千歳く
んはラムネ瓶のなか」と3回
のコラボ事業を開催しており
いずれも好評だったとのこと
だが、その経済効果は。また今
後の取組について伺う。

回答

コラボ事業の内容は、本市
の観光地等を背景にしたポス
ター掲示やスタンプラリー等
の周遊イベントなどであり、
年々参加者数が増加している。
イベント参加後に福井の観
光地を巡りながら3泊、4泊
以上滞在する参加者も多く、
その経済効果は令和5年度で
少なくとも2,200万円以
上に上ると試算しており、非
常に効果があるものと捉えて
いる。
令和6年度当初予算にもコ
ラボ事業を計上しており、デ
ジタルアプリの導入や北陸新
幹線福井開業の各事業との連
携など、より訴求力の高い事
業展開を検討している。



美山地区の小学校の統合について

質問

美山地区では3校全ての小
学校で複式学級を編成してい
る。子どもは通常の半分の時
間しか指導を受けられず、教
員も2学年分の授業の準備が
必要となり大変苦労している。
一日も早く3校を統合し、
1学年1学級での学習が実現
されることを望むが、再編の
目安となるスケジュールは。

回答

先日の自治会連合会総会で、
最も早い案として令和7年度
に統合するスケジュールを示
したが、その後の学校関係者
との協議において、学習範囲
の一部が未履修となるおそれ
があることが分かった。その
調整には最低でも2年程度を
要するため、既存の小学校を
統合する場合は、最短で令和
8年度以降となる。小中一貫
校とする場合は、学校施設の
改修が必要となるため、さら
に期間を要することとなる。
協議会の中でできるだけ早く
く地区内での合意を得られる
よう話し合いを進めていく。



ネット・SNSから子どもを守る取組について

質問

ネットいじめの件数が年々
増加し、過去最多となってい
る。本市の現状と、ネットパ
トロール等の取組状況は。
10代の間で「自撮り被害」
も急増している。子どもを守
るため、無料アプリ「コドマ
モ」を本市でも周知・啓発し
てはどうか。

回答

本市のネットいじめの現状
については、全国の傾向と同
様に、SNS等を通して誹謗
中傷の言葉を言い合うことで
トラブルに発展するといった
報告を複数受けている。
本市の取組状況としては、
令和5年4月から令和6年1
月末までに、ネットパトロー
ルで1,322件の問題投稿
を検知し、また小・中学校等
で1211回の情報モラル講習
会を実施した。
昨年春に産学官が連携して
製作した「コドマモ」につい
ては、今後、積極的な活用
に向けた周知・啓発を図って
いきたいと考えている。



福井市デジタル田園都市構想総合戦略について

質問

第2期総合戦略（R2～R
6）の成果はどうだったのか
4つの基本目標の各々の数値
目標の結果はどうだったのか
また、各々の基本目標の「政
策の基本的方向及び具体的施
策」のうち、どれはうまくい
ったか、どれはうまくいかな
かったか。その原因は何か。

回答

第2期総合戦略の成果につ
いて、基本目標1「交流」
「対流」「還流」、福井への
三つの人の流れづくりでは、
市内観光客入込数525万人
の目標に対し実績は324万
人であるなど、すべての基本
目標で数値目標が未達成とな
った。
また、重要業績評価指標
（KPI）56項目の令和4年
度末における状況は、33項目
が目標を達成し、達成率は
58・9%であった。
この結果は、令和2年度か
らの新型コロナウイルスの世界的拡大
に伴う行動制限など、社会情
勢等の影響を受けたことが大
きな要因と考えている。



アリーナ整備・運営構想には大反対です！

質問

当初の民設民営という考え
方から大きく変わっている。
整備費はすべて民間で賄う計
画だったのが、国が25億円、
県が15億円、福井市が10億円
負担することになる。財政部
長、整備資金10億円、また、
利用料金等として毎年7千万
円を支援する余裕はあるのか。

回答

アリーナ構想への支援につ
いては、基本計画（案）の内
容をしっかりと精査した上で、
行政として必要な支援のあり
方を検討していく。
また、財政運営については、
福井市財政計画に基づき、健
全な財政運営に努めていく。



「簡単・便利」な行政手続について

質問

「簡単・便利」な窓口について、導入予定の業務は何か。また、窓口での審査などが不要の提出物については、公民館などの市施設に提出し、メール便を活用して担当部署に届けるサービスを導入してはどうか。

回答

「行かない窓口」の取組として、マイナンバーカードとオンラインで戸籍などの各種証明の申請と手数料の決済が完了するサービスを令和6年度に導入する予定である。「書かない窓口」については、令和7年度に市民課窓口への導入を検討している。現在、市内8か所の連絡所では、メール便を利用し、担当部署への提出物の送付を毎日行っており、今後も業務に支障がない範囲で行っていく。一方、公民館のメール便は月1回であるため、急ぎの文書を預かれないこと、また市民からの提出物を最大1か月間預かることになり、個人情報保護などの課題があるため難しいと考える。



教育委員会の教育委員について

質問

片山善博元総務大臣は「教育委員が名誉職との考えが未だにあるが、委員は教育の根本で、市の教育行政に大きく影響するため、慎重に選出すべき」と講演で述べられた。本市では、どのような基準プロセスで、どのような思いを持った方を選出しているのか。

回答

本市では、委員の年齢や職業等を念頭に置き、教育、学術及び文化に関し識見を有する適任者を候補者として選出している。年齢は80歳未満で、男女2名ずつの4名とし、職業等については、主に学校の現場を熟知している方、学校保健や特殊教育に携わる医師などの方、地域社会と企業の連携ができる企業を経営する方、保護者を含める形で青少年育成やPTA役員などに関わる方を中心に選出している。今後も重要事項を決定する機関であることを認識し、強い使命感を持つ委員の選出に努めていく。



災害時、雑用水の確保に井戸の利用を

質問

災害時には、トイレや洗濯、入浴に使う雑用水が不足する。多くの自治体では、民間工場などの井戸や道路消雪用の井戸を活用する協定を結んでいる。福井市でも災害時、民間や消雪用の井戸を活用できるようにするべき。

回答

トイレなどの生活用水については、井戸水の活用も有効であると考え、本市の道路消融雪設備は降雪時の道路散水のみを目的としているため、災害時に利用できるような取水設備は設けていない。また、井戸水を使用する場合、用途によっては水質を確認する必要があると考えられる。しかし、他市町においては消雪用井戸を災害時に利用できるよう改良した事例や、民間企業等で整備した井戸から災害時に限り水の提供を受ける協定の締結の事例があることから、今後はこれらの事例について調査研究していく。



公道での共同募金について

質問

民間の団体が募金活動のために道路使用料2,300円を警察署に納めているが、大切な募金の中から道路使用料を支払うべきなのか。

また、緑化推進の緑の募金では、日程の固定を求めず、期間中いつでも申請した数か所で活動ができるよう柔軟な対応を求める。

回答

募金活動などで道路を使用する際は、管轄の警察署長に道路使用許可申請を行い、手数料を納付する必要がある。ただし、申請者が国または地方公共団体であり、かつ公益上必要があるときに免除が認められる。災害義援金の募金活動等については、公益上一定の理解が得られると考えることから、道路使用許可手数料の免除について、現在、警察と協議を進めているところである。緑の募金については、日程や場所を早めに協議いただく中で、柔軟な対応ができるようにと考えるため、担当所属と情報共有していきたい。



災害時の避難所、防災ステーションについて

質問

元日の能登半島地震は大変痛ましい事態となっている。本市の災害発生時における避難所の情報共有や生活資材の調達方法及び現在1か所に設置されている防災ステーションの代替施設等、万一の場合の対応について所見を伺う。

回答

情報共有については、防災情報システムへの導入により、各避難所でスマートフォンを活用することで、避難者数や生活必需品等のニーズを的確に把握し、迅速な避難所対応が可能となる体制を構築していく。炊き出し等のための生活資材が不足する場合は、県及び応援協定締結市町等に応援を要請するほか、本市が企業等と締結している物資調達に係る災害応援協定を活用する。本市では、防災資機材等を備蓄する拠点備蓄施設を、防災ステーションを含む市内7か所に分散して配備しており、拠点備蓄施設から各避難所への配送については協定を締結している配送事業者等と連携しながら行うこととしている。



さちよ
議員
葛野 早智代
一真会

障がい者の芸術活動について

質問

障がい者アートに関する認知度を高めるために、美術館等で多くの人に鑑賞する機会を提供することは重要であり、障がい者の自立につながることを期待される。
福井市として作品展を開催し、作品づくりのバックアップをすることは可能か。

回答

本市では、これまでにも「福井県障がい者ハートフル文化祭」や「アール・ブリュット展ふくい」などの展覧会等への後援を行うとともにこれらの周知広報にも努めてきた。

今後は、市長ビジョンに基づき、障がい者と健常者が一堂に会し、芸術文化の取組の成果の発表を通じて、広く市民が交流できる「障がい者芸術文化祭」を新たに開催したいと考えている。

このような取組を通して、障がいのある人もない人も共に認め、共に生きる社会をつくらせていきたい。



ふじた さとし
議員
藤田 諭
新政会

中学生の部活動について

質問

令和7年度末で休日の部活動を廃止し、地域クラブ活動に参加できるよう、家庭・学校・地域との連携を図るとしたが、休日部活動の地域移行に向けての周知、クラブ活動受入れ側の支援についてはどうなっているのか。

回答

休日部活動の地域移行に向けて、市が発行する地域クラブ移行に関する広報誌「ドリム通信」で、保護者や市民に周知を図っている。

地域クラブ活動の受入れ側となる競技団体等へのヒアリングでは、指導者や活動場所の確保が困難であることなど、様々な御意見をいただいている。これらの課題については、今後、地域クラブ活動推進協議会において対応方法を検討していくこととなるが、中学校の体育館などを地域クラブの活動場所として優先的に使用させるなど、地域への移行がスムーズに進むよう考えていく。

予算特別委員会

一真会

今村 辰和 堀江 廣海
池上 優徳 葛野 早智代
浦上 逸人 漆崎 與
佐野 弘

3月13日
3月14日

○まちづくりについて

問 建設予定のアリーナは民設民営を謳いながら、整備費の約5割、開業後の年間収入の約4割を、国、県、市からの資金で賄おうとしている。また、整備費は当初の30億円から数十億円であったものが、75億円となり、最終的には105億円にまで膨れ上がる事態となり、その間論議されていく中で費用の検証及び精査が不十分であったことは明白である。こういった経緯から、開業後の年間収入の根拠となる想定利用日数190日というのも全く信用できない。この際、アリーナ構想にかかる三者の合意を白紙に戻すべきだと考えるが、いかがか。

答 アリーナ構想に関する、議会からの様々なご意見を早急に経済界にお伝えする。また、関係者から詳細なヒアリングを行い、収支の見込みや経済波及効果などを精査していく。

各会派における主な質疑内容を紹介します。

く中で、その内容を県とともに確認した上で、議会に対して経済界から説明する場を設けていきたい。スポーツにはまちや人を元気にする力もあれば、経済効果もある。また、このアリーナは、災害時には地元の方々や帰宅困難者の避難場所としても活用できることから、「福井は楽しい！福井は安心！福井は元気！」の実現につながる施設であると考えており、アリーナ構想をぜひとも具体化していきたいという思いを強く持っている。

新政会

伊藤洋一 藤田 諭
田中 義乃

3月13日
3月14日

○福井市住宅基本計画について

問 基本計画で掲げている市営住宅の整備方針において、計画的な老朽住宅の解消として用途廃止を挙げているが、その進捗状況は現在どうなっているのか。また、計画的に用途廃止を進める一方、住戸数の確保が重要であると考えるが、どのような対応策を考えているのか。

基本計画で掲げている市営住宅の整備方針において、計画的な老朽住宅の解消として用途廃止を挙げているが、その進捗状況は現在どうなっているのか。また、計画的に用途廃止を進める一方、住戸数の確保が重要であると考えるが、どのような対応策を考えているのか。

答 耐用年限を経過し、老朽化した平屋や二階建て住宅、及び耐震性がない住宅については、入居者の移転を終えた建物から計画的に解体し、用途廃止を行っている。用途廃止予定の市営住宅36棟のうち、令和5年度までに17棟を解体し、現時点で計画どおり進んでいる。住戸数の確保については、外壁工事を行うなど既存住宅の長寿命化を図るほか、令和5年度から民間の賃貸住宅の空き部屋を市営住宅として登録し、入居希望者に貸し出す「民間賃貸住宅の借上げ制度」を試験的に運用しており、今後、制度の課題を見極めながら、計画的に住戸数を確保していく。

要望 「民間賃貸住宅の借上げ制度」は新しい試みであるため、メリットとデメリットをしっかりと精査した上で、本格的に運用してほしい。

市民クラブ
堀川 秀樹 村田 耕一
酒井 良樹

3月13日
3月14日

○足羽川桜並木長寿命化事業について

問 現在、寿命を迎え衰退が始まった幹や枝を切除す

る強剪定が必要な桜はどれくらいあるのか。また、この財源としてガバメントクラウドファンディングの活用を考えているとのことだが、総事業費はどれくらいを見込み、3月下旬から始まるふくい桜まつりでは、募集に向けて何か取組を行うのか。

答

現在、足羽川の桜並木には約600本の桜があるが、このうち約70年前に植えられたソメイヨシノ353本を調査した結果、5年以内を目途に強剪定が必要な桜は224本あることが判明した。総事業費は6,400万円を見込んでおり、ふくい桜まつりには大勢の来場者が予想されることから、開催時期に合わせて、4月1日からガバメントクラウドファンディングの募集を開始する。まつり期間中は、足羽川河川敷内に募集チラシやポスターを掲示したブースを設置するとともに、これまで本市と協力し、桜の保全を行ってきた「ふくい桜守の会」が募金活動を行う予定である。さらに、花月橋の下にある駐車場を有料とし、そこで得られる収入の一部を桜の保全費用に充てるほか、近隣の飲食店等にも店舗での募金協力を呼び掛けていきたいと考えている。

公明党
下畑 健一



3月13日
3月14日

問

新聞報道によれば、能登半島地震での福祉避難所の開設は想定外の2割にとどまったとのことであり、大規模災害時の開設が想定通りとはいかない現状が浮き彫りとなった。そこで、介護施設や障害者施設などの福祉施設以外の多様な施設や、市外及び県外の施設を福祉避難所として活用する必要があると考えるがどうか。

答

福祉施設以外の施設の活用についても検討しているが、市有施設は災害時の役割が決まっていることから、県有施設を活用できないか調査を行っている。今後、運営方法や受入れ体制等の協議、調整を進めていく。また、大規模災害時には県内の旅館やホテルといった県が協定を締結している施設を福祉避難所として活用していく。しかしながら、それでもなお不足することが想定されることから、県外での広域的な受入れ体制の整備について、県や全国市長会を通じて要請を行っていく。

日本共産党
鈴木 正樹



3月13日
3月14日

問

介護人材の確保については、介護保険事業に基づき着実に実施していくとのことだが、介護現場で働く人材の確保が困難となっている中、今後このような状況が続くとすると、計画を着実に実施していく上での障害になるのではないかと不安定した介護サービスを提供するためには、介護人材の確保は重要な課題であると認識している。そのため、県はタイやミャンマーの各機関などと連携し、技能実習制度を活用した外国人介護人材の受入れを行っており、本市もこれに合わせて、市内で働く外国人介護職員を対象とした離職防止のための事業を令和4年度から実施しているところである。また、県と連携して、介護職員の宿舎整備の補助、人材育成や働きやすい職場環境づくりに向けた研修、介護ロボットの導入やICTの活用など、介護職員の負担軽減につながる補助制度等の周知についても積極的に取り組んでいる。

答

安定した介護サービスを提供するためには、介護人材の確保は重要な課題であると認識している。そのため、県はタイやミャンマーの各機関などと連携し、技能実習制度を活用した外国人介護人材の受入れを行っており、本市もこれに合わせて、市内で働く外国人介護職員を対象とした離職防止のための事業を令和4年度から実施しているところである。また、県と連携して、介護職員の宿舎整備の補助、人材育成や働きやすい職場環境づくりに向けた研修、介護ロボットの導入やICTの活用など、介護職員の負担軽減につながる補助制度等の周知についても積極的に取り組んでいる。

(1月臨時会)		議案等の審議結果		
議案番号	件名	審議結果	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第145号議案 第41号報告	副市長の選任について 専決処分の報告について (和解及び損害賠償額の決定について)	1月19日 //	同意 受理	

(3月定例会)		議案等の審議結果		
議案番号	件名	審議結果	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第1号議案	令和6年度福井市一般会計予算	3月19日	可決	●
第2号議案	令和6年度福井市国民健康保険特別会計予算	//	//	●
第3号議案	令和6年度福井市後期高齢者医療特別会計予算	//	//	●
第4号議案	令和6年度福井市介護保険特別会計予算	//	//	●
第5号議案	令和6年度福井市母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計予算	//	//	●
第6号議案	令和6年度福井市船輪特別会計予算	//	//	●
第7号議案	令和6年度福井市産業団地整備特別会計予算	//	//	●
第8号議案	令和6年度福井市宅地造成特別会計予算	//	//	●
第9号議案	令和6年度福井市中央卸売市場特別会計予算	//	//	●
第10号議案	令和6年度福井市駐車場特別会計予算	//	//	●
第11号議案	令和6年度福井市水道事業会計予算	//	//	●
第12号議案	令和6年度福井市簡易水道事業会計予算	//	//	●
第13号議案	令和6年度福井市下水道事業会計予算	//	//	●
第14号議案	令和6年度福井市集落排水事業会計予算	//	//	●
第15号議案	福井市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	//	//	●
第16号議案	福井市職員定数条例の一部改正について	//	//	
第17号議案	市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例及び福井市監査委員に関する条例の一部改正について	//	//	
第18号議案	福井市会計年度任用職員の給与等に関する条例及び福井市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	//	//	
第19号議案	福井市男女共同参画・子ども家庭センターの設置及び管理に関する条例及び福井市地域交流プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について	//	//	
第20号議案	福井市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について	//	//	
第21号議案	福井市ひとり親家庭等の医療費等の助成に関する条例の一部改正について	//	//	
第22号議案	福井市介護保険条例の一部改正について	//	//	●

(3月定例会)		議案等の審議結果		
議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)	
第23号議案	福井市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について	3月19日 可決		
第24号議案	福井市勤労者及び就業者の融資に関する条例の一部改正について	// //		
第25号議案	福井市漁港管理条例の一部改正について	// //		
第26号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	// //		
第27号議案	福井市消防手数料条例の一部改正について	// //		
第28号議案	福井市公営企業の設置等に関する条例の一部改正について	// //		
第29号議案	福井市集落排水事業分担金徴収条例等の一部改正について	// //		
第30号議案	福井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	// //		
第31号議案	財産の無償譲渡について (旧福井市マイドーム清水)	// //		
第32号議案	包括外部監査契約の締結について	// //		
第33号議案	令和6年度福井市一般会計補正予算	// //		
第34号議案	福井市部等設置条例の一部改正について	// //		
第146号議案	令和5年度福井市一般会計補正予算	// //	●	
第147号議案	令和5年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	// //		
第148号議案	令和5年度福井市競輪特別会計補正予算	// //		
第149号議案	令和5年度福井市産業団地整備特別会計補正予算	// //		
第150号議案	令和5年度福井市水道事業会計補正予算	// //		
第151号議案	令和5年度福井市下水道事業会計補正予算	// //		
第152号議案	福井市職員の定年引上げに伴う退職手当基金条例の制定について	// //		
第153号議案	福井市職員の給与に関する条例の一部改正について	// //		
第154号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	2月16日 //	●	
第155号議案	福井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3月19日 //		
第156号議案	福井市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部改正について	// //		
第157号議案	福井市特別会計条例の一部改正について	// //		
第158号議案	福井市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正について	// //		
第159号議案	工事請負契約の締結について (新) 福井市九頭竜中学校新築工事	// //		
第160号議案	工事請負契約の締結について (新) 福井市九頭竜中学校新築電気設備工事	// //		
第161号議案	市道の路線の廃止について	// //		
第162号議案	市道の路線の認定について	// //		
第163号議案	工事請負契約の締結について (南消防署新築工事)	// //		
第164号議案	工事請負契約の締結について (南消防署新築電気設備工事)	// //		
第165号議案	福井市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	// //		
第166号議案	福井市公営企業の設置等に関する条例の一部改正について	// //		
第167号議案	令和5年度福井市競輪特別会計補正予算	// //		
第168号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について	// 同意		
第42号報告	専決処分報告について (和解及び損害賠償額の決定について)	2月16日 受理		
第43号報告	福井市土地開発公社の令和5年度決算に関する報告について	// //		
第44号報告	福井市土地開発公社の清算終了に関する報告について	// //		
市会案第2号	福井市議会会議規則の一部改正について	3月19日 可決		
市会案第3号	福井市議会委員会条例の一部改正について	// //		
市会案第4号	福井市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	// //		

(3月定例会)		請願・陳情の審議結果		
請願・陳情番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)	
陳情第5号	最低賃金の大幅な改善を求める陳情書	3月19日 不採択	●	

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対
※原則、議長(八田一以)は採決に加わりません。

会派名 議員名	審議 結果	一真会										新政会				市民クラブ			公明党		日本共産党		無所属										
		見谷喜代三	皆川信正	青木幹雄	今村辰和	堀江廣海	八田一以	池上優徳	寺島恭也	榎原光賀	葛野早智代	浦上逸人	漆崎與	佐野弘	野嶋祐記	奥島光晴	伊藤洋一	藤田諭	田中義乃	堀川秀樹	村田耕一	玉村正人	酒井良樹	高田稔浩	下畑健二	菅生敬一	津田かおり	鈴木正樹	山田文葉	近藤實	岩佐武彦	宮岡勝也	
		3月定例会																															
第1号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛	賛
第2号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第3号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第4号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第6号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第7号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第8号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第9号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第10号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第11号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第13号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第15号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第22号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第146号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第154号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
陳情第5号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛

議長の動静(令和6年1月～3月)

1月19日	福井県市議会議長会 議員研修会(小浜市)
29日	全国競輪主催地議会議長会 役員会(長崎県)
2月5日	福井県市議会議長会 定期総会(小浜市)
6日	福井県市町振興協会 理事会
8日	全国市議会議長会 理事会・評議員会合同会議、 全国市議会議員互助会 代議員会(東京都) 北信越市議会議長会 理事会(東京都)
13日	福井県自治会館組合議会 定例会 福井県市町総合事務組合議会 定例会
20日	福井県後期高齢者医療広域連合議会 議員全員協議会、 定例会
22日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議会運営等懇話会(あわら市)
3月27日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議員全員協議会、定例会(あわら市)

1月臨時会

1月19日 議員全員協議会、本会議

3月定例会

2月16日	本会議
19日	議会運営委員会
26日	本会議(一般質問)
27日	本会議(一般質問)
28日	本会議(一般質問)
29日	総務委員会 建設委員会
3月4日	教育民生委員会 経済企業委員会
13日	予算特別委員会
14日	予算特別委員会
15日	議会運営委員会
19日	議員全員協議会、本会議

定例会外の議会日程(令和6年1月～3月)

1月16日	議会運営委員会
31日	北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会
2月7日	議員全員協議会、議会運営委員会

傍聴してみませんか

本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望される方は、下記を参考にお越しください。

傍聴できる会議	受付場所	受付時間	定員
本会議	市役所本館8階 議場入り口	開会30分前 から (先着順)	97名 (うち車椅子6名)
常任委員会 (総務、建設、教育民生、経済企業)	市役所本館8階 各委員会室前		若干名
議会運営委員会			
北陸新幹線開業効果最大化 対策特別委員会			
議員全員協議会 予算特別委員会	市役所本館8階 全員協議会室前		

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。
※詳細については、下記のホームページを御確認いただくか、電話でお問い合わせください。

請願・陳情等の 提出について

請願・陳情などは、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されます。基本的にいつでも提出できますが、提出時期等詳細については、ホームページを御確認の上、電話でお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局 議事調査課
TEL.0776-20-5510

編集後記

北陸新幹線福井開業の3・16は記念すべき日になりました。待ちに待ったその日は早朝から予想を超えて盛り上がり、市民の皆さんと共に喜びが爆発しました！ふくい桜マラソンも大盛り上がり！これまでの関係する方々の努力に心より感謝申し上げます。

今回の3月定例会では、東公園に計画されているアリーナ構想に関する質問を多くの議員が取り上げ、意見を理事者に投げかける場面が目立ちました。福井市が持続的に発展できるように議会も努力していきます。(編集委員 下畑、山田)

》》》 次回は 》》》 6月定例会です

- 定例会の日程はホームページに掲載します。
- 本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送します。
- 本会議、常任委員会等の模様は、インターネットで録画配信します。

市議会
ホームページ



本紙に関するお問い合わせ

議会事務局 庶務課
TEL.0776-20-5506
FAX.0776-20-5744

WEBでの
お問い合わせ
フォーム

